

函館中央病院 発行責任者 本橋雅壽

心ある医療 私たちは、病める人の立場に立ち、かけがえのない 命と健康を第一に尊重する医療を提供します。

基本理念

総合周産期母子医療センター、北海道がん診療連携指定病院、北海道小児地域医療センター、日本医療機能評価機構認定施設

方 針

- ●道南の基幹病院として急性期医療に取り組みます。
- ●断らない救急医療を実践し、住民の信頼と期待に応えます。
- ●総合周産期母子医療センター及び北海道がん診療連携指定病院として高度で 専門的な医療を提供します。
- ●「患者さまの権利」を尊重し、安心で安全なチーム医療を実践します。
- ●医療環境の発展と充実のため、地域の行政・医療機関との連携を強化します。
- ●ワークライフバランスに配慮した職場環境づくりと人材育成に力を入れます。

# 「呼吸療法認定士」の資格を取得

## 呼吸リハビリで合併症予防と不安感を改善

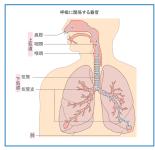
昨年11月末に3学会(日本胸部 外科学会、日本呼吸器学会、日本麻 酔科学会) 合同の『呼吸療法認定士』 認定試験が東京で行われ、無事合格 することが出来ました。

この試験は肺や胸部、気管、気管 支などの呼吸器系の解剖学や生理学 などの基礎的な分野から、呼吸器系 の各疾患の概要や人工呼吸器の構造、 小児の呼吸管理など呼吸器系に関わ る様々な分野から出題されます。

試験の目的は、医師をはじめ看護 師や理学療法士、臨床工学技士など の患者さまと関わる医療スタッフの 専門性を高め、医療チームのレベル 向上を図ることとされています。



齊藤 健太 理学療法士 (呼吸療法認定士)



私は理学療法士として患者さまに関わるなかで、「呼吸療法認定士の 資格を取得することは、理学療法士としてのスキルアップに繋がると 同時に、患者さまにこれまでよりも質の高いリハビリを提供出来るの ではないか」と考え、資格取得を目指しました。

当院は手術を必要とされる患者さまや重篤な疾患を抱える患者さ まの治療を多く行う急性期病院です。肺や食道などの胸部や、胃や大 腸などの腹部の手術をされる患者さまには"呼吸リハビリテーショ ン"が行われています。

手術後の患者さまは、麻酔や傷の痛みなどから深呼吸や咳をするこ とが難しくなります。このような状況では健康な方の呼吸状態とは異 なり、呼吸器合併症(肺炎や無気肺など)を生じるリスクが高くなり ます。更に、手術後は呼吸機能の低下により体力も低下すると言われ ています。これらの呼吸器合併症を予防するためには、出来るだけ早 期からの呼吸訓練やがいそう練習(痰をだすための練習)などの呼吸 リハビリテーションを行い、肺をはじめとして全身状態を悪化させな いようにすることが重要となります。また、呼吸リハビリテーション は、誤嚥性肺炎や慢性呼吸器疾患である間質性肺炎、気管支喘息など を患っている患者さまに対しても行われています。呼吸器の病気を患

## 中·央·病·院·前

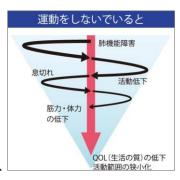
例年に比べ雪が少なく、 雪かきや車の運転もラ クですね。雪遊びを楽 しみにしているお子さ



んやウィンタースポーツを楽しむ方にとっては少し物足り ないかもしれませんが、生活しやすい冬ではあります。 さて、2020年となり早くも1ヶ月。あまり意気込むのも どうかと考え、特に「今年の目標」をかかげずに平常心で毎

日を過ごしています。勿論ですがやらねばならない事はし っかりやります(笑)。ただ、その方が物事に対して落ち着 いて取り組めていると感じます。自分の人間性を変えるこ とは難しいことですが、生き方を変えることは難しくはあ りません。さてさて、どんな 1 年になるのやら・・・

うと普段の日常生活でも息切れや 息苦しさが生じてしまい、その不 安から歩行することを躊躇してし まう患者さまもいらっしゃいます が、それが要因となって足腰の力 が衰え、段々と日常生活の活動が 制限されてしまう"悪循環"を引 き起こしてしまいます。ですから、



この悪循環を引き起こさない為に足腰の筋力訓練を行い、呼吸困難 感や不安感の改善を図ります。また、患者さま個々に合った生活指導 を行うことで生活の質の向上に向けて一緒にリハビリを行います。

今回、呼吸療法認定士の資格取得に際し、より専門的な知識を身に 付けることが出来ました。今後も患者さまに合わせたリハビリテー ションを心がけ、一人でも多くの方々の力になれるよう努力してい きたいと考えております。

# 名誉院長 勇退



当院名誉院長 山根 繁 医師は、令和元年12月 31日付をもちまして勇退されました。

昭和 45年(1970)から現在までの約半世紀 の永きにわたり、当院のみならず道南地域の整形 外科診療の発展に多大なる貢献を果たされまし た。これも皆様方のひとかたならぬご鞭撻の賜物 と存じ、深く感謝申し上げます。

名誉院長 山根 繁

昭和45年 整形外科医長 昭和55年 副院長

平成17年 名誉院長 平成 3年 病院長 平成22年 瑞寶中綬章 受章

平成 7年 北海道知事·北海道医師会 表彰

# 新任医師の紹介

令和 2 年 1 月 1 日付で形成外科の曽根良子医師が赴任いたしま した。 曽根医師は平成 29 年以来 2 回目の着任となります。



曽根 良子 形成外科医長 (平成 25 年 東京女子医科大学卒) 専門分野 形成外科

# 年男・年女の決意表明です!

私は、昨年4月より臨床工学技士として函館中央病院 に入職しもうすぐ1年が経ちます。

昨年を振り返ると、周りの方々のお力添えを受け臨床 工学技士としても社会人としても成長することができたと思いますが、先輩方を見ているとまだまだ学ぶ べきことが多く残っていると実感しています。私が臨 床工学技士として函館中央病院の患者さまに何ができるのかを常に考え、日々努力を重ねたいと思っています。昨年同様、私が今日も仕事ができるのは周りの方々の協力のおかげであるという感謝の気持ちを忘れず業終に励みます。



臨床工学技士 坪川 貴明



病棟の先輩方、患者さまの支えにより、入職してから 3年日を迎えようとしています。

ねずみ年生まれの年女として、一言抱負を述べたいと 思います。

ねずみ年生まれの性格は、柔和で明るく、真面目であるといわれているそうです。

看護師という仕事をする上で大切なことは、周囲の人 と明るくコミュニケーションをとれることや、与えら れた仕事を真面目にやり遂げることだと思います。 このことを意識しながら、これからも日々頑張りたい と思います。

看護師 蝦名 志保

# 2019 年度 道社会貢献賞 受賞

## 当院から優良医療職員に 工藤英範(マッサージ師)が選出

この度、2019年度北海道社会貢献賞の優良医療職員5名の発表があり、当院リハビリテーション科でマッサージ師として勤務している工藤 英範が選出され、北海道社会貢献賞を受賞しました。工藤マッサージ師は、昭和57年に当院へ入職して以来、



現在までリハビリテーション科にて多くの患者さまに対しマッサージを施術しております。今回、永年の功労が讃えられ北海道社会貢献 賞の受賞となりました。

#### インフルエンザへの感染予防を!!

ただいま (R2.1.25 時点) 市内でインフルエンザが流行しております。感染拡大防止の為、当院ではご面会に制限をしております。 普段より手指衛生やマスクの着用を心がけ、インフルエンザウィルスへの感染予防に努めましょう!

## 人間ドックのご案内

当院では皆さまのニーズにお応えできるよう、人間ドックのコース 設定をしております。日帰りコースやがん検診コース、内容が充実し た全身プレミアムコースなど。簡易コースはバリウムが苦手という方 にもお勧めで、午後からの検査も可能です。定期的なお身体の点検に 人間ドックをお勧め致します。(お問い合わせ:健康管理センター)

#### 【日帰り人間ドック】

1. 日帰り人間ドック <u>料金 38,500 円(税込)</u> 実施日: 月曜~土曜(受付時間 ①7:45 ②8:15)

2. 日帰り人間ドックがん検診コース 料金 56,100円(税込)

日帰り人間ドック + C T 検査 + 腫瘍マーカー (血液がん検診) がセットになったお得なコースです。

実施日:月曜~土曜(受付時間 ①7:45 ②8:15)

3. 簡易人間ドック(胃バリウムなし) 料金 28,270 円(税込) 胃部検査はペプシノゲン検査(血液による胃がんリスク検査) がセットになったコースです。

実施日:月曜~土曜(受付時間 ①9:30 ②火曜・木曜は13:30)

## 1泊2日人間ドック 全身プレミアムコース

人間ドックに、脳ドック(MRI)およびCT検査、歯科検診、骨密度検査(DEXA法)等が備わったブレミアムコース

「人間ドック」・「脳ドック」、2つのドックをはじめとする最新鋭の検査機器で行う画像診断および 歯科検診、骨密度検査(DEXA法)等、全身を総点検する精度の高い健診を実現しました。



ご自身の健康状態を、全身の隅々まで調べることが出来る充実した検査内容で おくつろぎ出来るご宿泊セットをご用意致しました。

# 患者さまデータを共有する医療連携

先日の新聞にも掲載されていた通り、医療連携システム「ID リンク」の道南圏ネットワークに当院も加入する予定です。このネットワークは医療機関が患者さまの電子カルテデータ(病気の経過やお薬の処方歴など)などを共通のシステムで共有することで、適切で迅速かつ円滑に医療を提供することに繋がります。また、このシステムでは ID 番号で患者さま情報を管理するため、個人情報の漏えいリスクを抑えることも可能です。これから迎える超高齢化社会では、あらゆる患者さまに対応し、地域全体の医療機関が協力し、医療を提供する体制の構築が必要です。

#### 【患者さまの権利】

- ・安全で良質の医療を平等に受ける権利
- ・自らが受けている医療について、十分な説明を受け、知る権利
- セカンドオピニオンを求める権利
- ・自らが受ける医療に参加し自己決定する権利
- ・個人のプライバシーが守られる権利
- ・個人として常にその人格、価値観が尊重される権利

#### 【患者さまの義務】

- ・自らの健康状態を医療者にできるだけ正確に知らせる義務
- ・医療者の説明や自らの疾病状態の理解に務める義務
- ・病院の規則や医療者の指示に従い、医療に参加・協力する義務
- ・他の患者さまの治療や医療者の業務に支障をきたさない義務
- ・受けた診療に対し、医療費を支払う義務



『電車どおり』では、皆さまのお役に立ちそうな情報をどんどん掲載していく予定です。記事に対するご要望などがございましたら、広報誌担当事務局までお問い合わせ下さい。 連絡先: 厄 0138-52-1231 (内線 2263) 次号発行予定は2月25日です。お楽しみに!!